

令和7年度 進路調査研究委員会報告

目 次

I	令和7年度 家庭に関する学科卒業者の進路状況調査の概要.....	1
II	調査の結果.....	2
1	家庭に関する学科卒業者の進路状況.....	2
2	家庭に関する学科卒業者の進学状況.....	4
3	家庭に関する学科卒業者の就職状況.....	5
4	令和7年3月卒業生の就職・進学における課題.....	7
III	家庭学科卒業者の入学者選抜並びに採用に関する要望書.....	8
IV	入学者選抜並びに採用に関する要望書提出先.....	9
<参考>		
◆	令和7年度 家庭に関する学科卒業者の進路状況調査.....	10
◆	専門学科・総合学科卒業生及び卒業見込み者を対象とした選抜を行う予定の 国公立大学一覧（令和7年度大学入学者選抜）.....	11

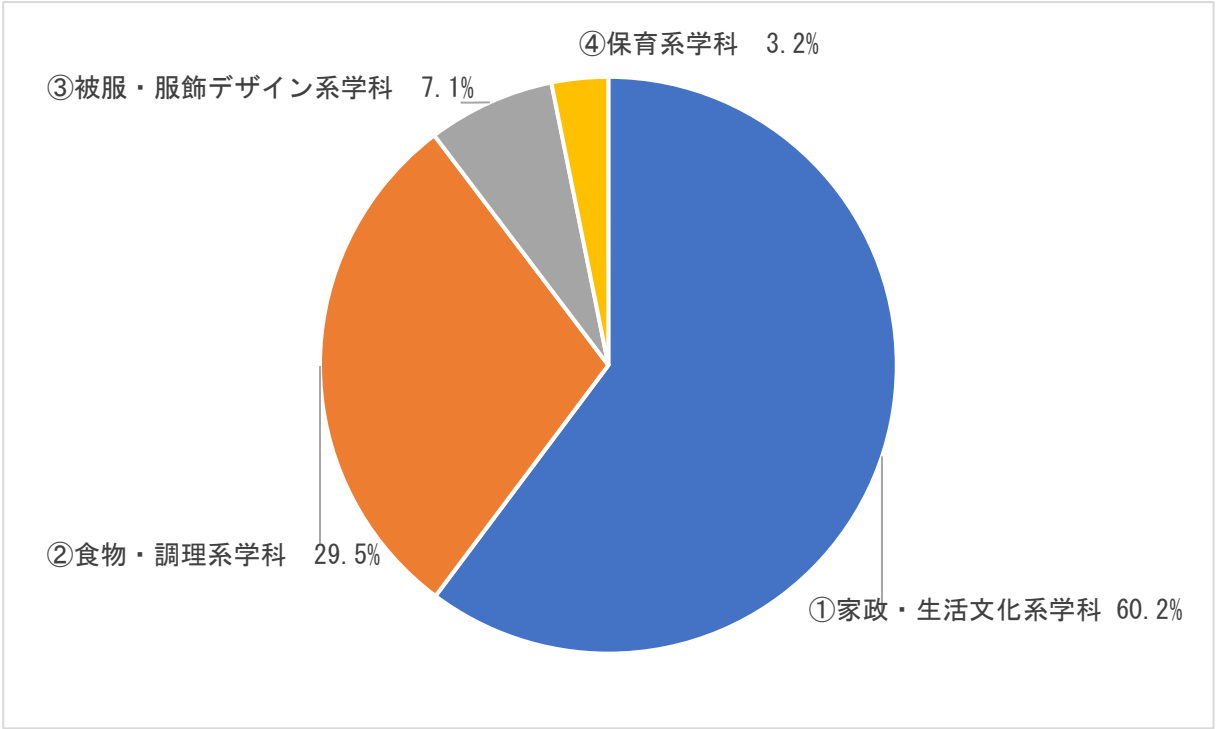
全国高等学校長協会家庭部会
進路調査研究委員会

I 令和7年度 家庭に関する学科卒業者の進路状況調査の概要

- 1 調査の目的 家庭に関する学科の卒業者の進路状況を経年的に把握し、関係団体への就職や入学者選抜に関わる要望書を作成して、要請していくための基礎資料とする。また、今後の進路指導に活用する。
- 2 調査の実施 令和7年7月
- 3 調査の対象 会員校のうち、令和7年度家庭に関する学科（保育系を含む）を設置する高等学校（210校249学科）の令和6年度卒業生（令和7年3月卒業）
[家政・生活文化系147、食物・調理系73、被服・服飾デザイン系21、保育系8]
※数字は学科数
- 4 調査回答校 207校 243学科 (8,733人) 回答率：98.6%
- 5 調査方法 ①進路状況（学科単位）…質問紙を配付し、Web上での回答
②就職・進学における課題（学校単位）…Webアンケート
- 6 主な調査内容 ① 就職者と学科関連の就職の状況
② 進学者と学科関連の進学の状況及び推薦入学の状況
- 7 調査の分析方法 回答のあった207校243学科を、小学科単位で①家政・生活文化系、②食物・調理系、③被服・服飾デザイン系、④保育系に分類し、学科系でその傾向を分析する。
なお、調査回答校の学科別概要は次のとおり。

分類	学科数	割合	生徒数	割合
①家政・生活文化系学科	146	60.1%	5,260	60.2%
②食物・調理系学科	69	28.4%	2,572	29.5%
③被服・服飾デザイン系学科	20	8.2%	624	7.1%
④保育系学科	8	3.3%	277	3.2%

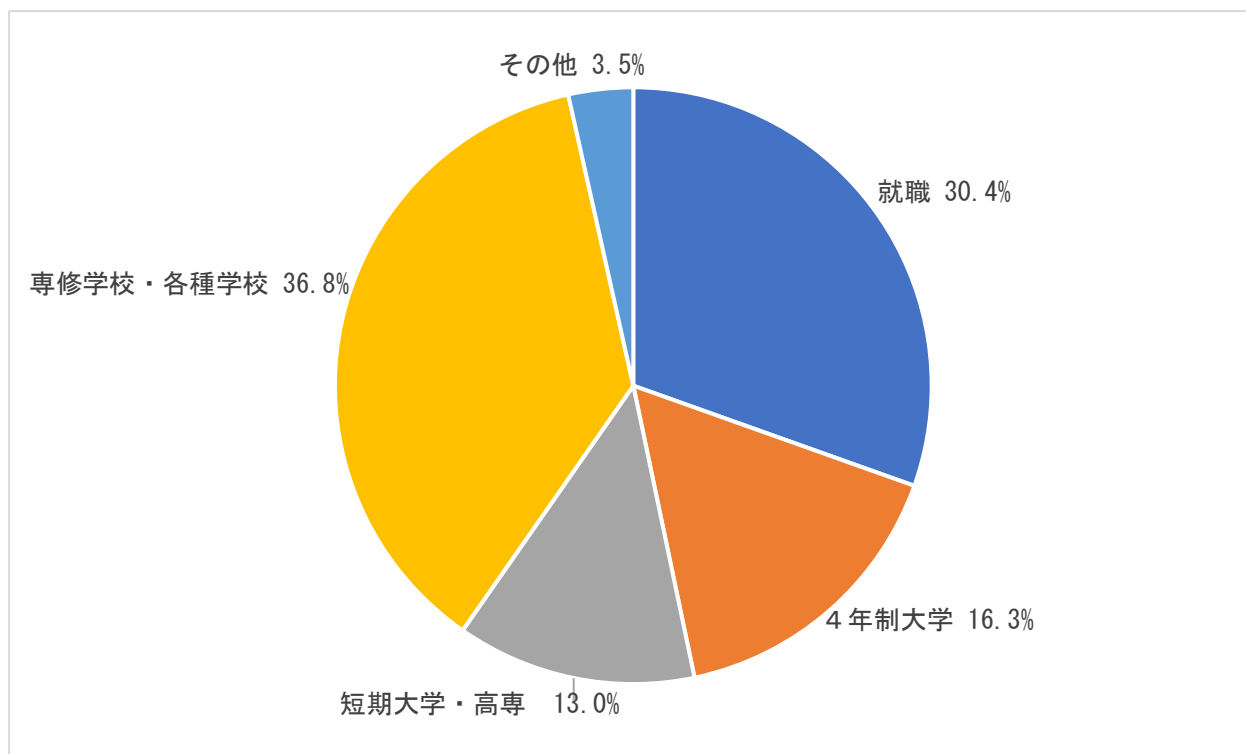
学科別卒業者の割合



Ⅱ 調査の結果

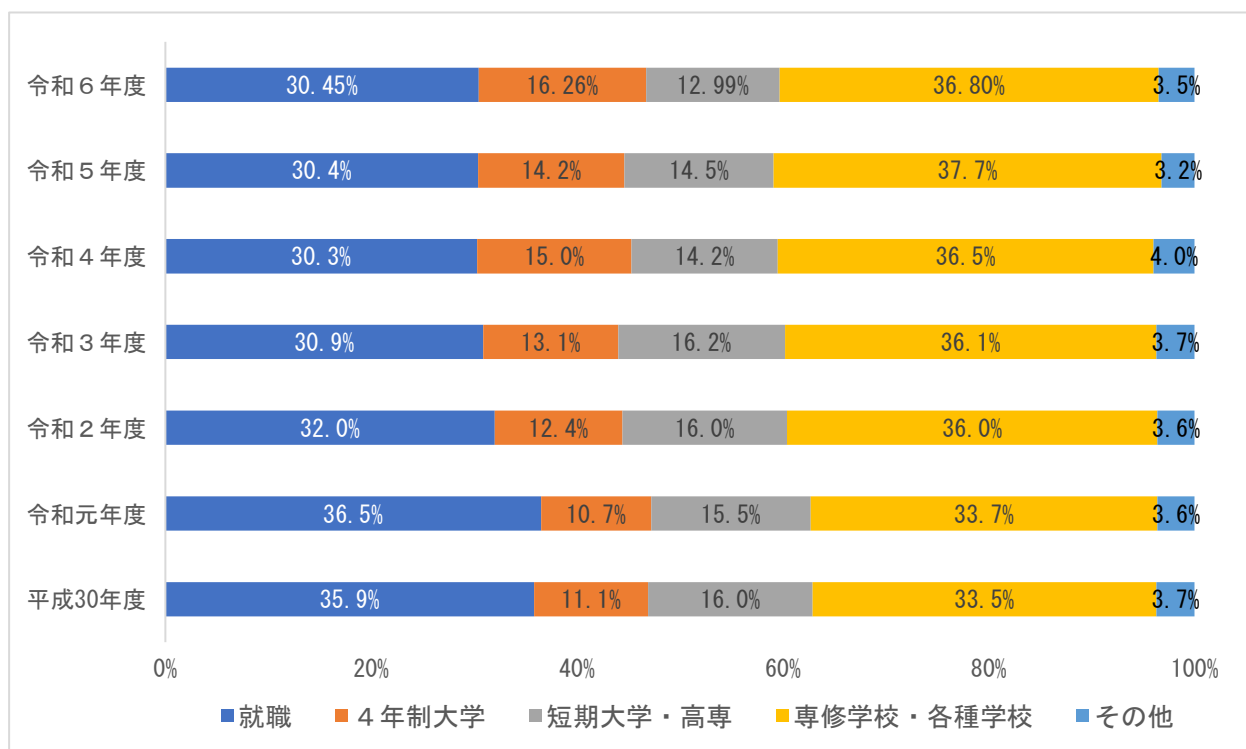
1 家庭に関する学科卒業者の進路状況

(1) 家庭に関する学科の令和6年度卒業者の進路状況（全体）

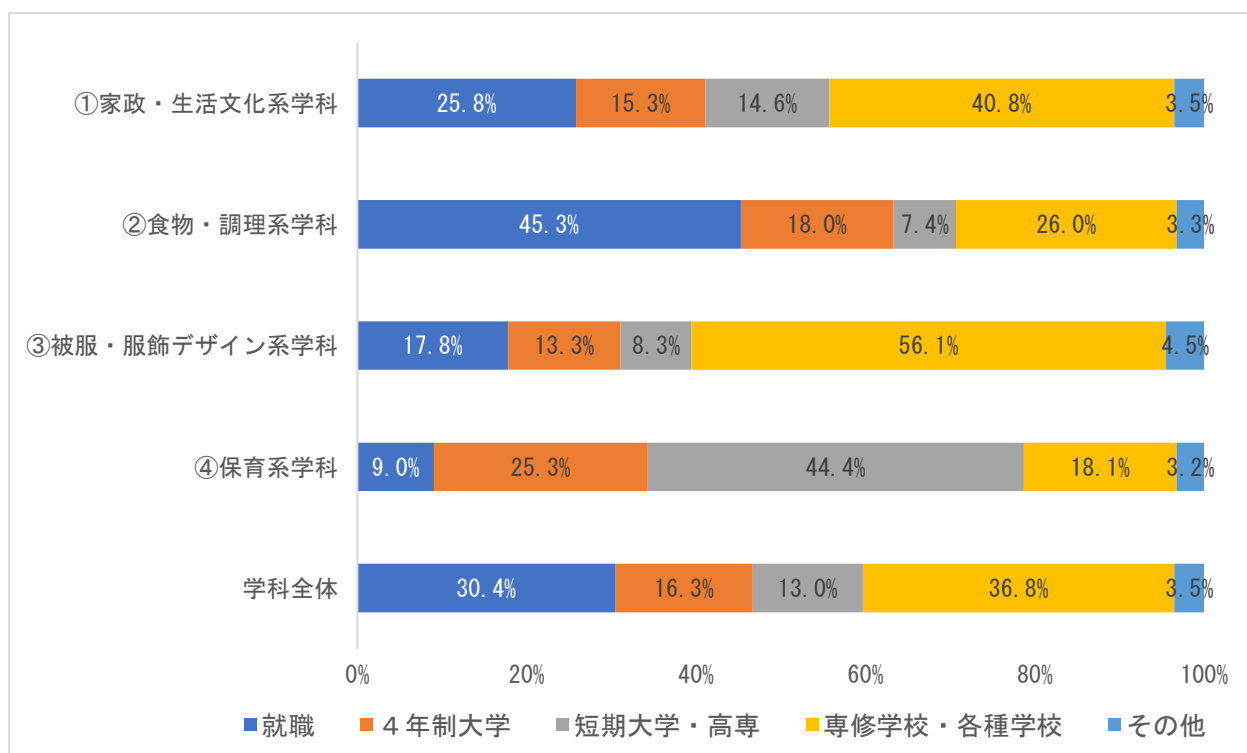


※国公立大学 35 人（前年度 17 人）、国公立短期大学 43 人（前年度 26 人）

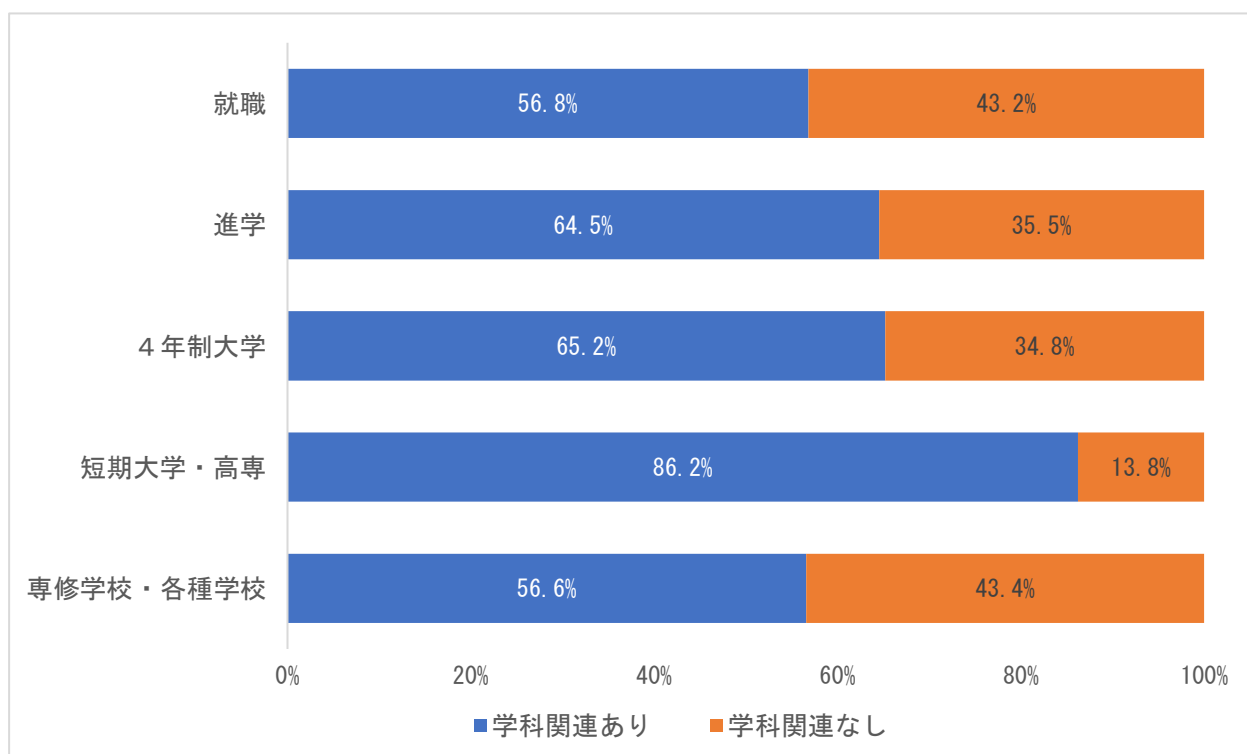
(2) 家庭に関する学科卒業者の進路状況の推移（平成30～令和6年度）



(3) 学科別の進路状況（割合）



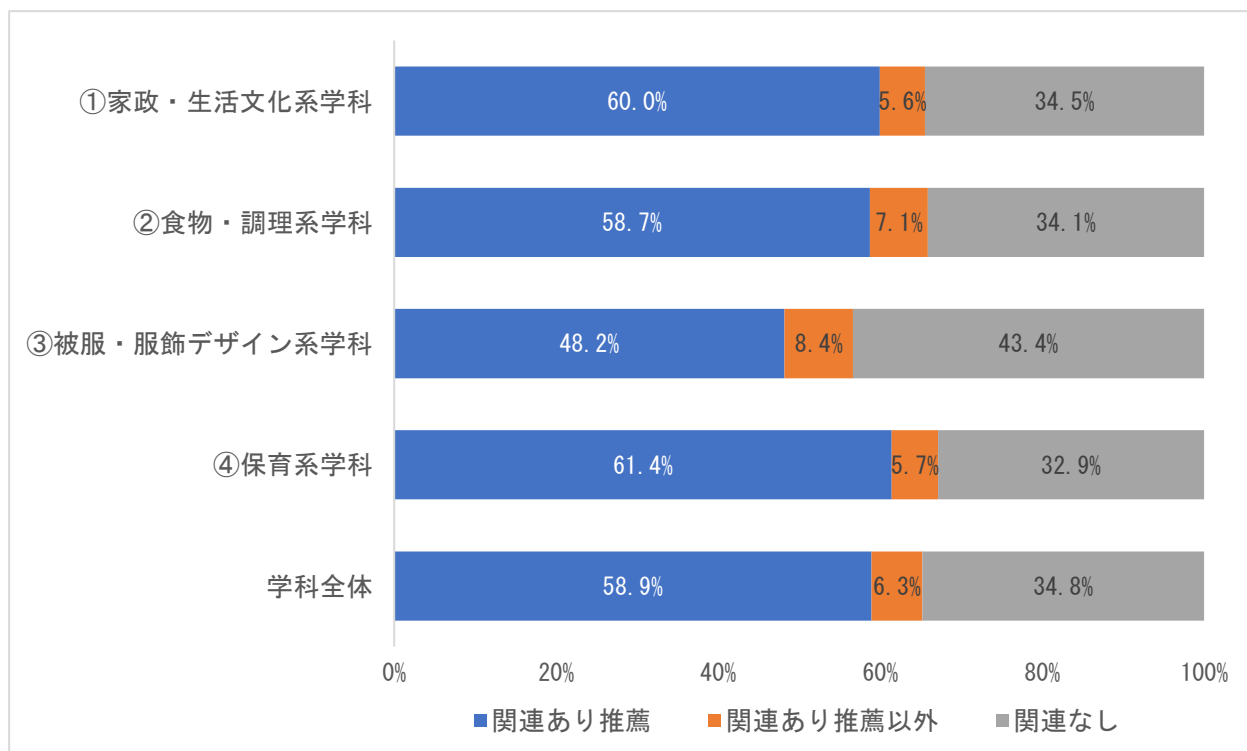
(4) 進路における学科と関連した進学・就職の有無の状況（割合）



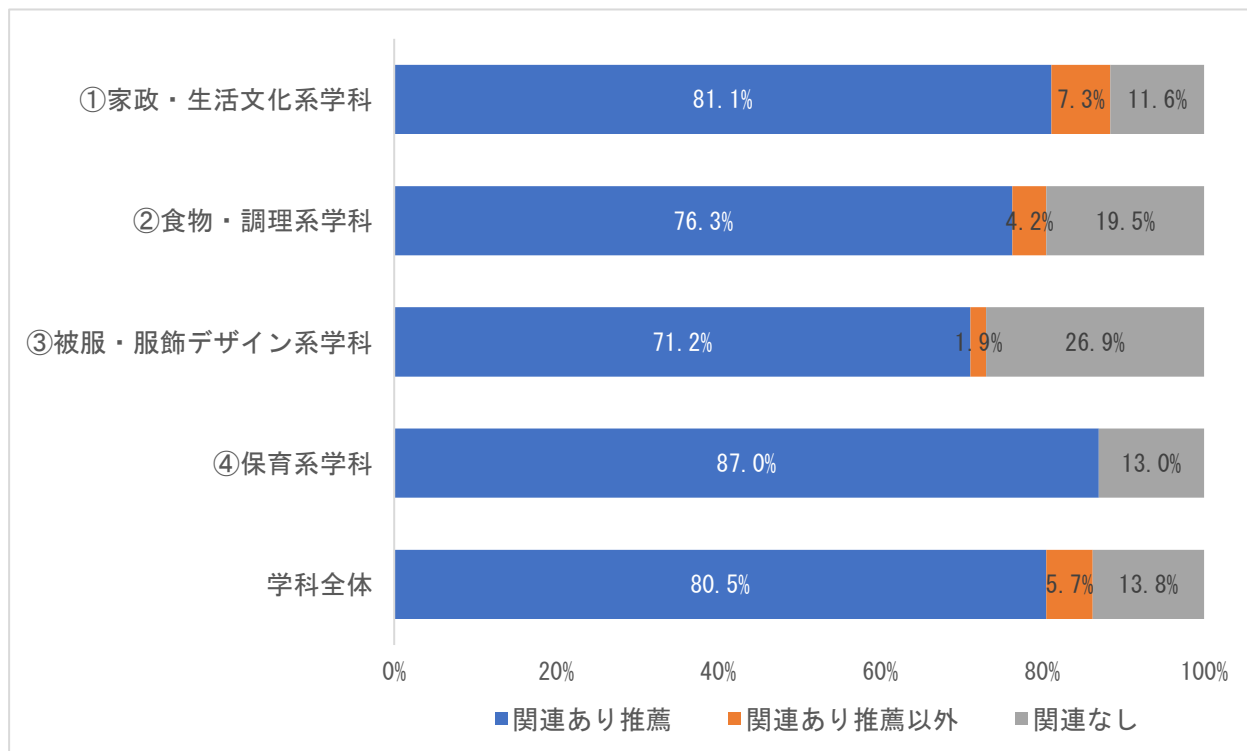
2 家庭に関する学科卒業者の進学状況

(1) 学科に関連した進学の状況（学科との関連・推薦、：割合）

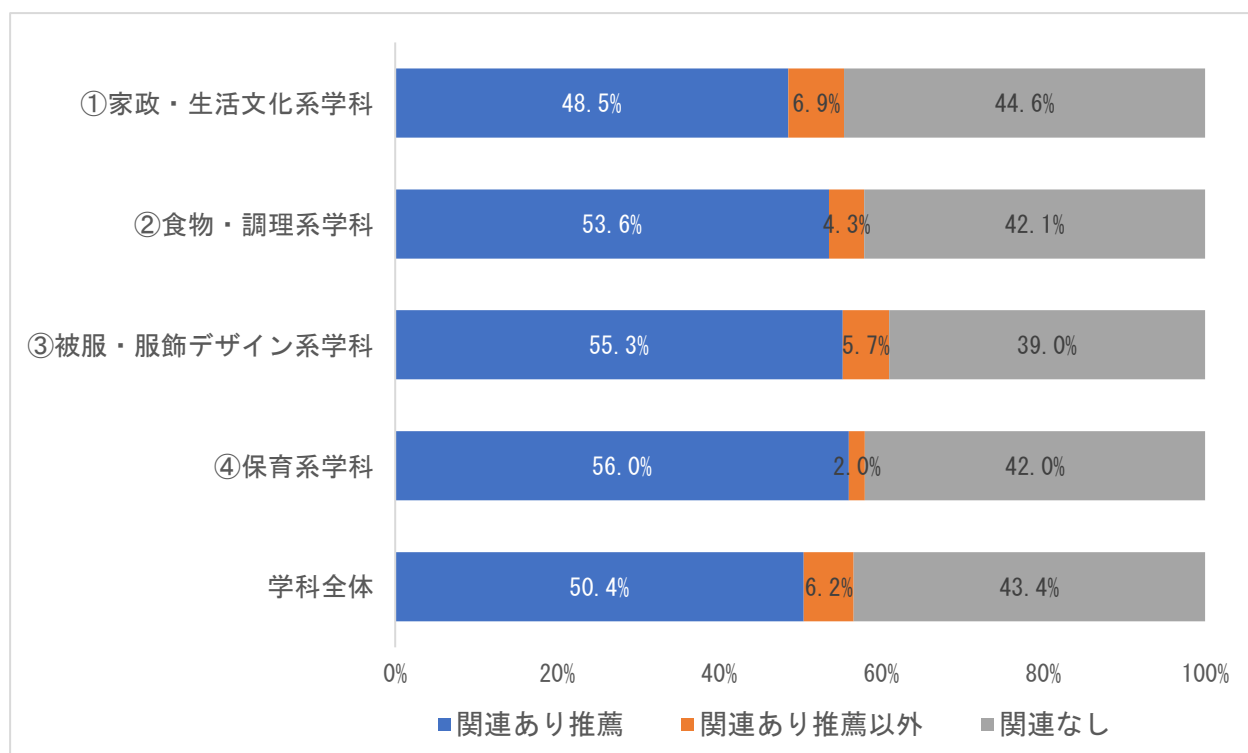
① 4年制大学



② 短期大学・高専

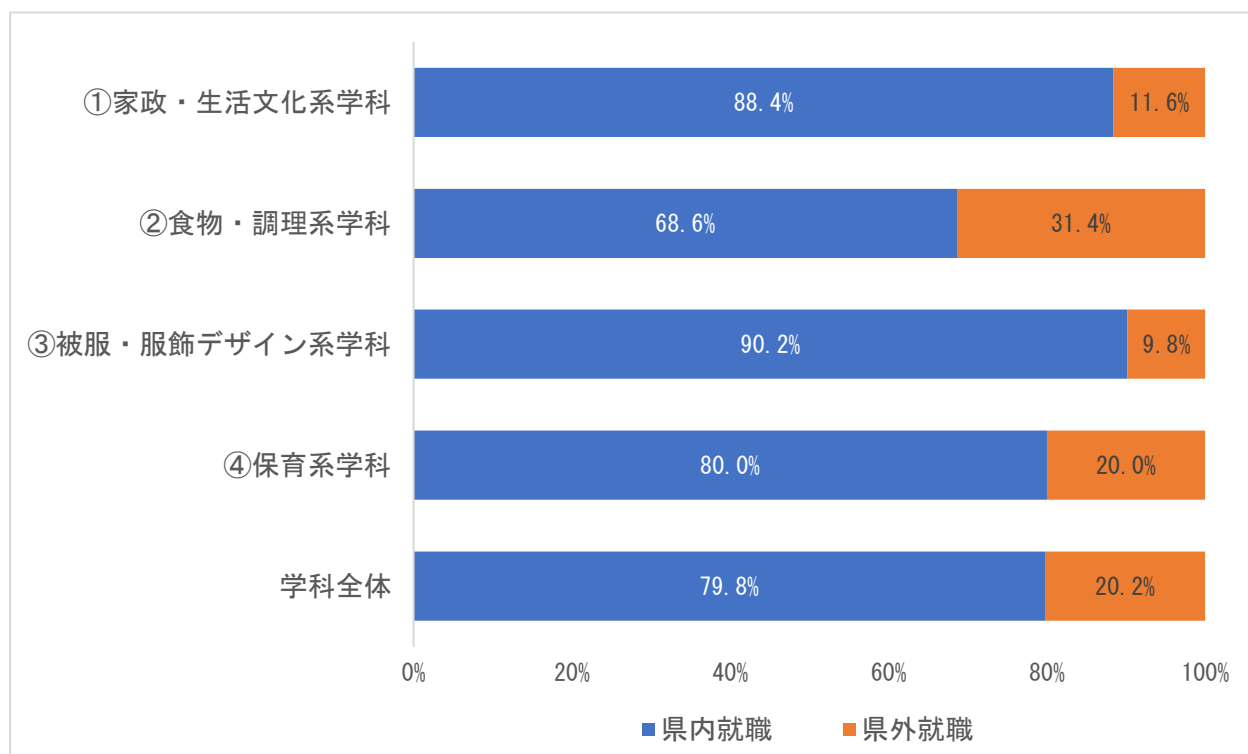


③専修学校・各種学校

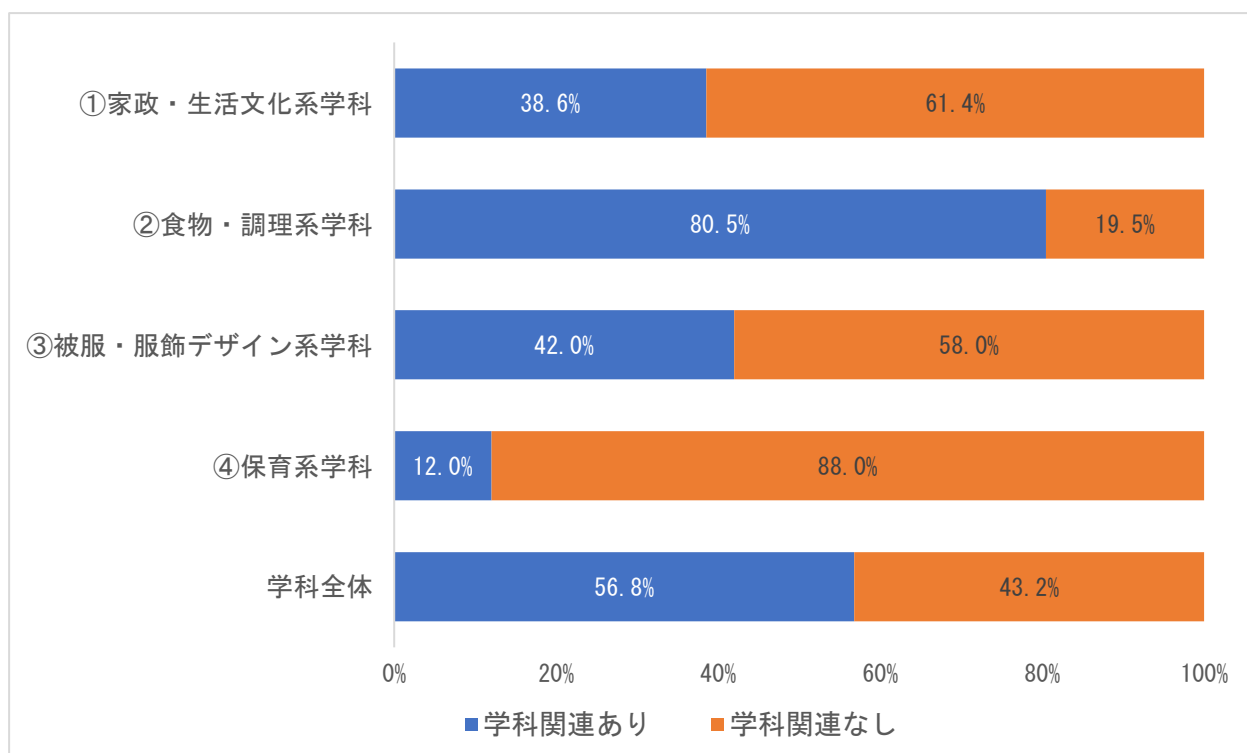


3 家庭に関する学科卒業者の就職状況

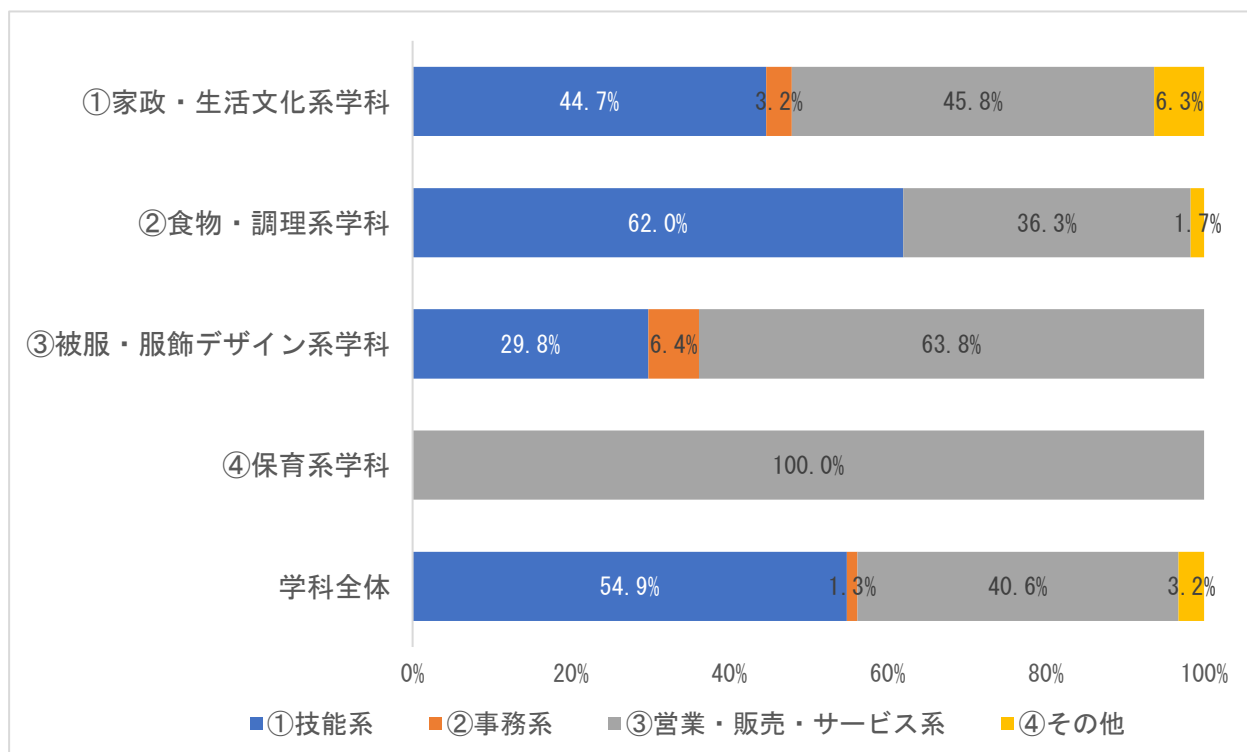
(1) 学科別の県内・県外就職状況（割合）



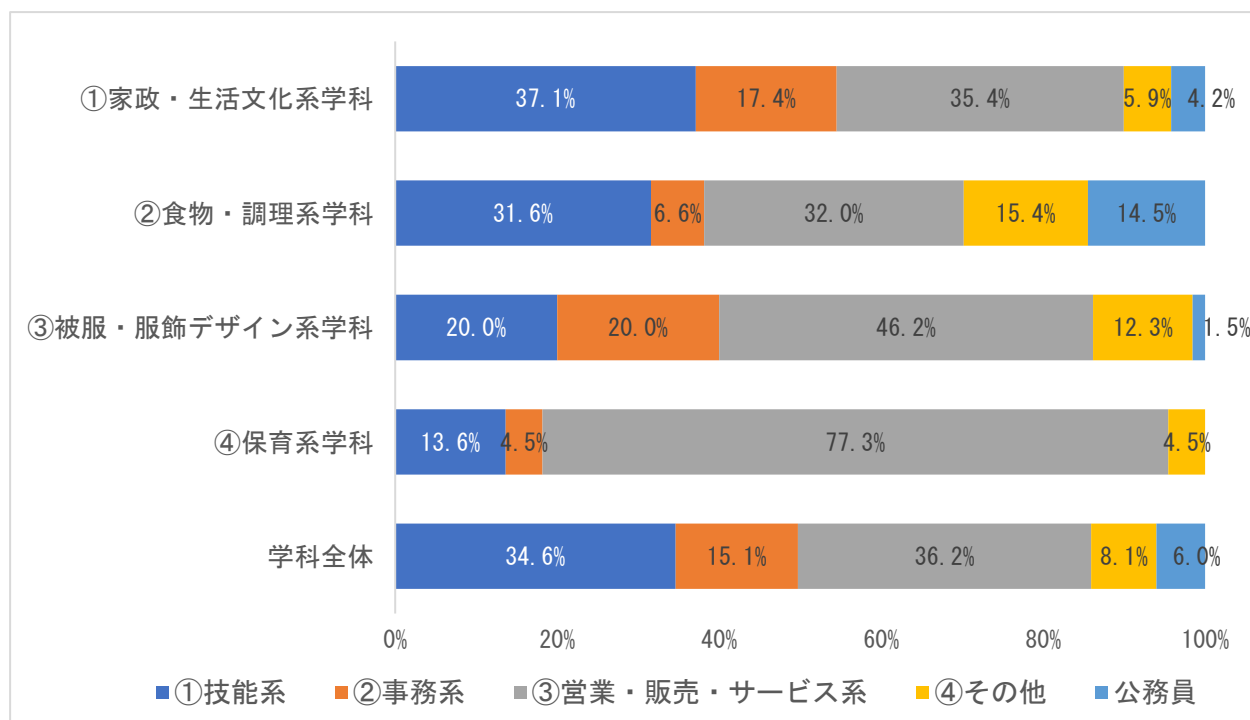
(2) 学科に関連した就職の状況（割合）



(3) 学科と関連した就職者の職種内訳（割合）



(4) 学科と関連しない就職者の職種内訳（割合）



4 令和7年3月卒業生の就職・進学における課題（選択肢による回答、複数回答可）

(1) 就職

n=205

課題	回答校数	割合
社会人、職業人としての基礎的資質・能力の育成	125	61.0%
勤労観・職業観の醸成	101	49.3%
生徒の希望する職種・地域と求人とのミスマッチ	81	39.5%
インターンシップや企業訪問等の確保	42	20.5%

【その他】4

- ・ 地方の食産業や福祉業界の待遇（賃金が低いなど）格差の課題
- ・ 服飾デザイン科の生徒の専門を生かせる求人が少ない。
- ・ 専門学科で学んだことを生かす職種・企業からの求人が少ない。
- ・ 生活関連産業における給料（収入）が低い傾向にあるため、自身の専門性を活かしていきたいが収入の高い職業に就く傾向がある。また、結婚を期に退職することが多い。しかし、子育て後は、生活関連産業に従事する卒業生も一定数いる。

(2) 進学

n=205

課題	回答校数	割合
基礎学力の向上	148	72.2%
生徒の進路意識・進学意識の醸成	96	46.8%
経済的理由による進学の断念、進路の変更	64	31.2%
入試制度改革に伴う変更や選抜方法の多様化に対応した進学指導の在り方	66	32.2%
学科の学びや家庭科技術検定に対する周知と評価	67	32.7%
奨学金の返還も含めた制度活用に対する周知	43	21.0%

【その他】4

- ・ 県内に家庭科の教員免許を取得できる大学がない。
- ・ 大学における、専門高校出身者向けの授業の設定
- ・ 管理栄養士養成へ進んだ生徒の大学授業での化学等の学力不足
- ・ 被服系の学部については県内に無く、通学できず、地元から離れなければならない。また、栄養士系の学部については、学習レベルの不均衡が挙げられる。

Ⅲ 家庭に関する学科卒業者の入学者選抜並びに採用についての要望書

1 大学・短期大学への要望書

令和七年十月吉日

家庭に関する学科で学ぶ生徒の進学機会の拡大についての要望書

全国高等学校長協会家庭部会
理事長 高木 伸一
同 進路調査研究委員会
委員長 相澤 直幹

家庭に関する学科においては、将来の生活産業を担うスペシャリストの育成を目指し、知識・技術の習得はもとより、学習の定着をより確実にするため、公益財団法人全国高等学校家庭科教育振興会主催、文部科学省後援による家庭科技術検定（被服製作技術検定、食物調理技術検定、保育技術検定）などにも取り組んでおります。このような中、家庭に関する学科で身に付けた知識・技術を更に高めるため、また、より高度な資格を取得するため、大学・短大への進学を希望する生徒が約三割おります。一方、経済的な理由により、進学を断念する生徒や入学後の学業に専念できない卒業生が、少なからずおります。

つきましては、進学機会の拡大に向け、入学者選抜の改善や修学環境の整備など、左記の事項について特段の「高配」を賜りますよう、全国高等学校長協会家庭部会の総意によってお願い申し上げます。

記

一 「総合型選抜」「学校推薦型選抜」における家庭に関する学科で学ぶ生徒を対象とした枠の設置及び拡大、並びに「専門学科・総合学科卒業生選抜」の積極的な導入。

二 家政関係の学部・学科（教育を含む）における入学者選抜において、出願資格・条件のひとつに、家庭科技術検定を明記するとともに、その成果や課題研究・学校家庭クラブ活動等の実績の適切な評価。

三 家庭科技術検定などの家庭に関する学科で学んだ学習成果に応じて、入学金・授業料等の減免や奨学金制度の充実等、経済的優遇措置の一層の拡充。

以上の三項目につきまして、重点事項として要望いたします。
特に、今後の入学者選抜の実施にあたっては、一及び二について、特段の配慮を重ねてお願いいたします。

2 専門学校への要望書

令和七年十月吉日

家庭に関する学科で学ぶ生徒の進学機会の拡大についての要望書

全国高等学校長協会家庭部会
理事長 高木 伸一
同 進路調査研究委員会
委員長 相澤 直幹

家庭に関する学科においては、将来の生活産業を担うスペシャリストの育成を目指し、知識・技術の習得はもとより、学習の定着をより確実にするため、公益財団法人全国高等学校家庭科教育振興会主催、文部科学省後援による家庭科技術検定（被服製作技術検定、食物調理技術検定、保育技術検定）などにも取り組んでおります。このような中、高等学校で身に付けた知識・技術を更に高めるため、また、より高度な資格を取得するため、専門学校への進学を希望する生徒が多数おります。一方、経済的な理由により、進学を断念する生徒や入学後の学業に専念できない卒業生が、少なからずおります。

つきましては、進学機会の拡大に向け、左記の事項について特段の「高配」を賜りますよう、全国高等学校長協会家庭部会の総意によってお願い申し上げます。

記

一 家庭科技術検定などの家庭に関する学科で学んだ学習成果に応じて、入学金・授業料等の減免や奨学金制度の充実等、経済的優遇措置の一層の拡充。

二 入学者選抜において、出願資格・条件のひとつに、家庭科技術検定を明記するとともに、その成果や課題研究・学校家庭クラブ活動等の実績を尊重・重視した評価の導入並びに一層の推進。

以上の二項目につきまして、重点事項として要望いたします。

3 全国中小企業中央会（企業）への要望書

令和七年十月吉日

家庭に関する学科で学ぶ生徒の採用に関する要望書

全国高等学校長協会家庭部会
理事長 高木 伸一
同 進路調査研究委員会
委員長 相澤 直幹

家庭に関する学科においては、将来の生活産業を担うスペシャリストの育成を目指し、知識・技術の習得はもとより、学習の定着をより確実にするため、公益財団法人全国高等学校家庭科教育振興会主催、文部科学省後援による家庭科技術検定被服製作技術検定食物調理技術検定、保育技術検定）などにも取り組んでおります。さらに、課題研究やインターンシップなどの体験的な学習を重視して、実践力やコミュニケーション力、豊かな人間性を育んでおります。就職を希望する生徒は、衣食住・保育や福祉といった、人々の生活に密接に関係した学びから得た専門性を活用して、生活の質を向上させるものづくりやヒューマンサービスを通して社会に貢献したいという熱意にあふれております。このような人間生活の基本を真摯に学ぶ若者に対して就業の機会を確保することは、私たちの切実な願いであります。

貴団体におかれましては、就職希望者が自らの進路実現を図ることができるよう、各都道府県下の企業との連携により、求人や採用に際して、左記の事項に特段のご高配を賜りますよう、全国高等学校長協会家庭部会の総意によってお願い申し上げます。

記

一 家庭に関する学科で学ぶ生徒が希望をもって社会に踏み出せるよう、生活産業に関わる企業等における採用枠の拡大及び安定的な採用。

二 採用選考において、家庭科技術検定、課題研究や学校家庭クラブ活動などの成果を尊重・重視した評価の導入並びに推進。

IV 入学者選抜並びに採用についての要望書の提出先

	月 日	提 出 先 機 関	住 所	電 話 (FAX)	会 長 名	事務局長
1	10月1日 (水)	国立大学協会	〒101-0003 千代田区一ツ橋 2-1-2 学術総合センター 4 階	4 2 1 2 - 3 5 1 7 (4 2 1 2 - 3 5 1 9)	藤井 輝夫	村田 善則
2	10月1日 (水)	公立大学協会	〒100-0013 千代田区霞が関 3-8-1 虎の門三井ビル B106	3 5 0 1 - 3 3 3 6 (3 5 0 1 - 3 3 3 7)	浅井 清文	中田 晃
3	10月1日 (水)	日本私立大学連盟	〒102-0073 千代田区九段北 4-2-25 私学会館別館 7 階	3 2 6 2 - 2 4 2 0 (3 2 6 2 - 2 4 4 1)	田中 愛治	山下 隆一
4	10月8日 (水)	日本私立大学協会	〒102-0073 千代田区九段北 4-2-25 私学会館別館 9 階	3 2 6 1 - 7 0 4 8 (3 2 6 1 - 0 7 6 9)	小原 芳明	小出 秀文
5	10月1日 (水)	全国公立短期大学協会	〒101-0047 千代田区内神田 3-5-5 大同ビル 3 階	6 2 0 6 - 0 5 3 5 (6 2 0 6 - 0 5 3 6)	柳沢 幸治	塚越 義行
6	10月1日 (水)	日本私立短期大学協会	〒102-0073 千代田区九段北 4-2-25 私学会館別館 6 階	3 2 6 1 - 9 0 5 5 (3 2 6 3 - 6 9 5 0)	麻生 隆史	河本 雅弘
7	10月1日 (水)	全国専修学校 各種学校総連合会	〒102-0073 千代田区九段北 4-2-25 私学会館別館 1 1 階	3 2 3 0 - 4 8 1 4 (3 2 3 0 - 2 6 8 8)	おおの 多 忠貴	原田大五郎
8	10月1日 (水)	全国中小企業団体中央会	〒104-0033 中央区新川 1-26-19 全中・全味ビル	3 5 2 3 - 4 9 0 1 (3 5 2 3 - 4 9 0 9)	森 洋	田上 ひろみち 宏 運